

決 議

今、世界中を格差や貧困の拡大、差別などが覆い、行き過ぎた新自由主義、グローバル化の波に人々は立ちすくんでいる。

安倍政権による大胆な金融緩和と成長戦略は、大企業の増益と貧富の格差拡大をもたらしただけで、二%のインフレ目標も経済成長もいまだ達成できていない。

政府は、高齢化に伴う社会保障費の年間自然増を五千億円と機械的に抑制し、更なる国民負担を画策している。医療機関は設備投資に係わる消費税の負担により疲弊し、高額薬剤の導入は医療保険制度の存立をおびやかしている。

国民の社会保障への不安が個人消費を減らし、経済成長を妨げている。経済成長には社会保障の充実による安心感が不可欠であり、国民皆保険制度を堅持することが必要である。

我々医師は、国民の生命と健康を守るため、左記の事項を強く要望する。

記

- 一、 社会保障費の伸びの機械的削減を撤回せよ。
- 一、 医療に係る消費税問題を抜本的に解決せよ。
- 一、 受診抑制をきたさぬよう患者自己負担を軽減せよ。
- 一、 地域医療提供体制への悪影響をきたさぬ地域医療構想を推進せよ。
- 一、 薬価算定ルールの透明化を実現せよ。

右、決議する。

平成二十八年十一月二十六日

第一二二回札幌市医師会臨時代議員会